

ステンレスモザイク

MKKP - 28 - 26SM01

MKKP - 30 - 26SM02

MKKP - 30 - 30SM03

MKKP - 30 - 30SM04

取扱説明書

据付工事説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意	1
・ご使用に際して／ お手入れ方法／ ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて／ アフターサービスについて	2

据付工事説明書

・安全上のご注意	3～4
・施工前の確認	4
・施工にご用意いただくもの	4
・仕様	5
・施工方法	6～13
・据付け後の点検・清掃・養生	14


取扱説明書

安全上のご注意



必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

 注意	この表示の欄は、「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
---	---

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

注意

ステンレスモザイクの上を走ったりしないでください。



滑ったりつまづいたりして、ケガをする恐れがあります。

ステンレスモザイクに直射日光が当たっている場所を素足で歩かないでください。



やけどをする恐れがあります。

ステンレスモザイクの表面が濡れている場合は、表面を布で拭いてください。



滑って、ケガをする恐れがあります。

ステンレスモザイクの上に家具等を設置する場合は、引きずったりしないでください。



へこみや傷が付く原因になります。

ご使用に際して

重い家具の移動は持ち上げて、引きずらないようにしてください。

へこみや傷が付く原因になります。

お手入れ方法

(1) お手入れのときのご注意

必ず柔らかい布またはスポンジをご使用ください。

傷が付く原因になります。

シンナー・ベンジン等の溶剤や、ミガキ粉・アルカリ性・酸性の洗剤等は使用しないでください。

変色やキズが付く恐れがあります。

目地材、シーリング材は傷をつけたりしないように注意してください。

(2) お掃除のしかた

水を含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
それでも落ちない場合は、水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に中性洗剤をつけて汚れを落とし、水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取り、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いたします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

・ ご氏名 ・ ご住所 ・ 電話番号 ・ お買い上げ日 ・ 異常の内容 ・ 品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。


据付工事説明書

安全上のご注意



必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

■表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

 注意	この表示の欄は、「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
---	---

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

■取付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

注意

ステンレスモザイクの据付けは、建築壁・建築床の構造を確かめて施工説明書通り正しく行ってください。



施工を誤ると、反り・ふくれ等により、思わぬケガをする恐れがあります。

工事完了後は、接着不良・反り・ふくれ等が無いことを必ず確認してください。



施工に異常があると、使用中に思わぬケガをする恐れがあります。

施工時は、部屋の換気を十分行ってください。



接着剤の蒸気を吸引すると、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。

接着剤が皮膚等に付着したときには、すぐに石鹸でよく洗い流してください。



炎症を起こす恐れがあります。

降雨、降雪時の据付けは避けてください。



下地が濡れますと接着力が低下しますので、必ず乾燥させてから据付けてください。接着不良でハク離し、ケガをする恐れがあります。

ステンレスモザイク、ステンレスエッジを切断加工するときは、必ず保護手袋、保護メガネを着用してください。また、取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



切り粉が飛んだり、切断面にさわり、思わぬケガをする恐れがあります。

施工前の確認

壁の垂直レベルや床の水平レベルを確認してください。

壁が垂直でない場合は、垂直になるように下地を調整してください。

床の水平レベルを再調整する為、セルフレベルリング材を打設してください。

モルタル用水分計で含水量が10%程度になるまでよく乾燥させてください。

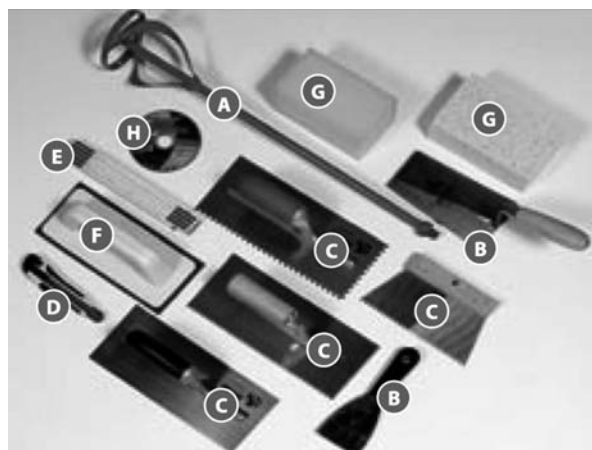
その後、プライマー（接着を助けるもの）を下地に施します。

（使用する下地に合わせてプライマーを選択してください。）

ステンレスモザイクを貼付ける前に、計測機器（水平器、定規、レーザー墨出し器等）を使用して縦横の基準線を出してください。

施工にご用意いただくもの

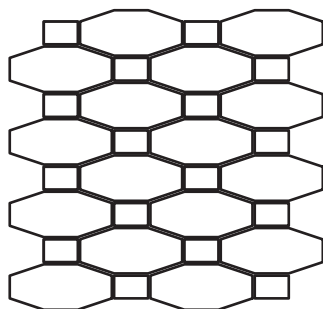
- (A) カクハン用具
- (B) 鋺、金属製スキージ
- (C) スキージ、目切角鋺 [目幅3mm]
- (D) カッター
- (E) 各種計測器
- (F) ゴム鋺
- (G) エポキシ系目地材の清掃に適したセルローススポンジセット
- (H) ステンレス用切断砥石（薄刃）



- ・ ディスクグラインダー
- ・ ジグソー（ステンレスエッジ・ステンレスモザイクの切断用）
- ・ 電気ドリル（コンクリート用ドリル刃φ4mm）
- ・ 接着剤（ステンレスモザイクの近似色を推奨）
- ・ シーリング材（ステンレスモザイクの近似色を推奨）
- ・ 目地材（ステンレスモザイクの近似色を推奨）
- ・ 施工時の養生材

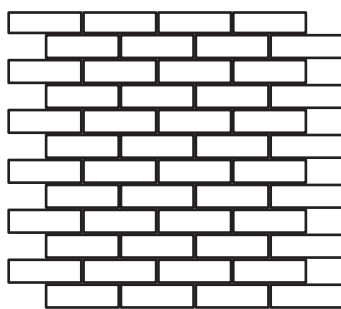
仕様

ステンレスモザイク
MKKP-28-26SM01



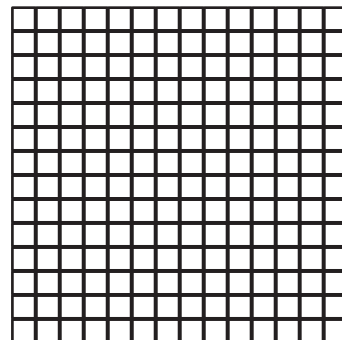
表面 : SUS304
芯材 : 樹脂
目地幅 : 2.0mm
サイズ : 276×264 t=4
重さ : 約8kg/m²

MKKP-30-26SM02



表面 : SUS304
芯材 : 樹脂
目地幅 : 2.0mm
サイズ : 295×260 t=4
重さ : 約8kg/m²

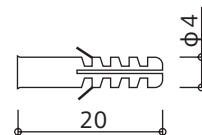
MKKP-30-30SM03(04)



表面 : SUS304
芯材 : 樹脂
目地幅 : 1.2mm
サイズ : 295×295 t=4
重さ : 約8kg/m²

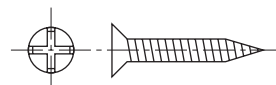
フィッシャープラグ
P9AFP-4020S4

サイズ : φ4 L=20
材質 : ナイロン製
色 : グレイ



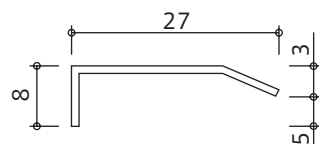
サラタッピン化粧ネジ
P9AST-JM3020S

サイズ : φ3×20
材質 : ステンレス製



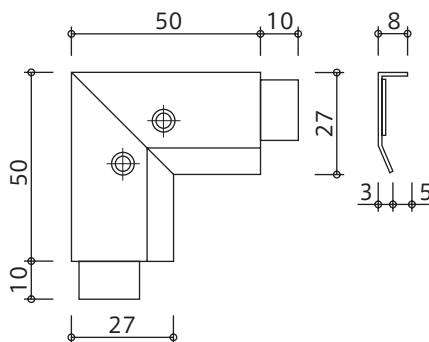
ステンレスエッジ
FPCT-3000ST2

サイズ : L=3000 (27×8)
材質 : ステンレス製
仕上げ : バイブレーション仕上げ



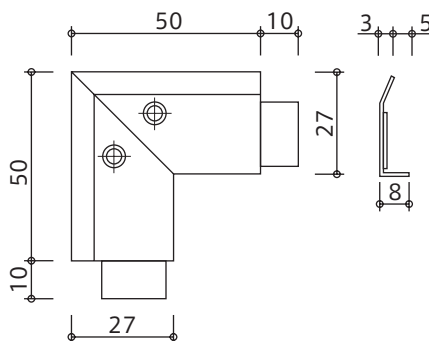
コーナーエッジ A
FPCT-60STA

サイズ : 60×60×8
材質 : ステンレス製
仕上げ : バイブレーション仕上げ



コーナーエッジ B
FPCT-60STB

サイズ : 60×60×8
材質 : ステンレス製
仕上げ : バイブレーション仕上げ



施工方法

壁面に貼る場合

■下地の準備

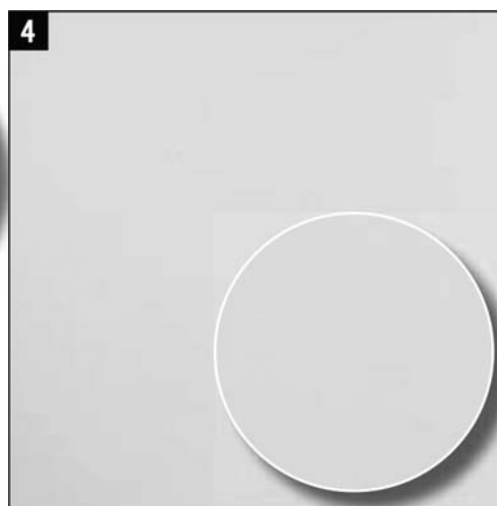
(1) 下地は、ひび割れがなく、平坦で頑丈でなければなりません。

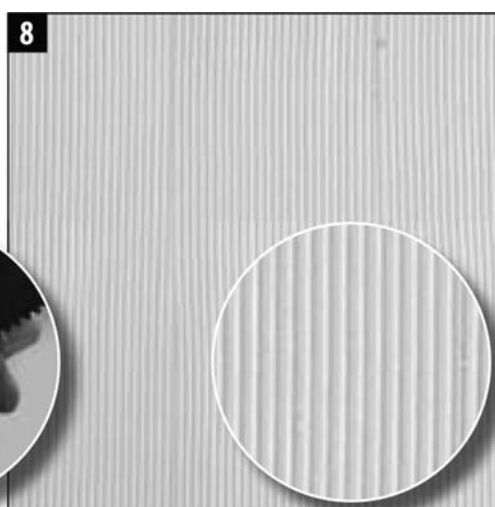
下地が傷んでいる場合は、補修をしてください。

下地は最終仕上げに影響してくるので注意が必要です。

(2 / 3 / 4) 接着剤、シーリング材は、下地の種類、使用場所、使用頻度によります。

使用する接着剤やシーリング材は条件に合わせて選んでください。





■貼り付け作業

(5) 箱からステンレスモザイクを取り出し、裏紙を取り除いてください。

(6) 1 平米内のエリアを覆うよう、最初に目切角鋺の滑らかな面を使い接着剤を塗布してください。

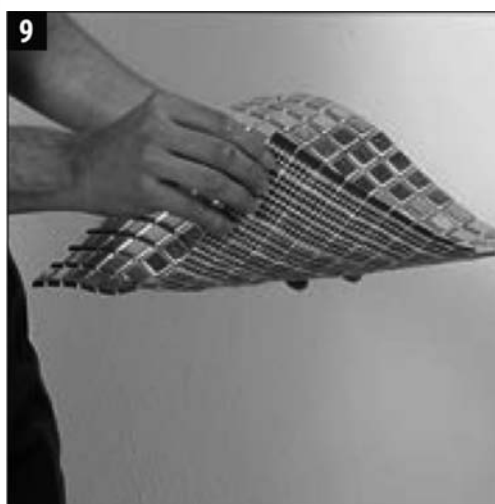
(接着剤が施される表面の面積は、下地の種類・使われる接着剤・天候や環境条件によります。)

シーリング材や接着剤は下地材により異なるので、正しいものを選ぶためにシーリング材および接着剤メーカーにアドバイスをもらってください。

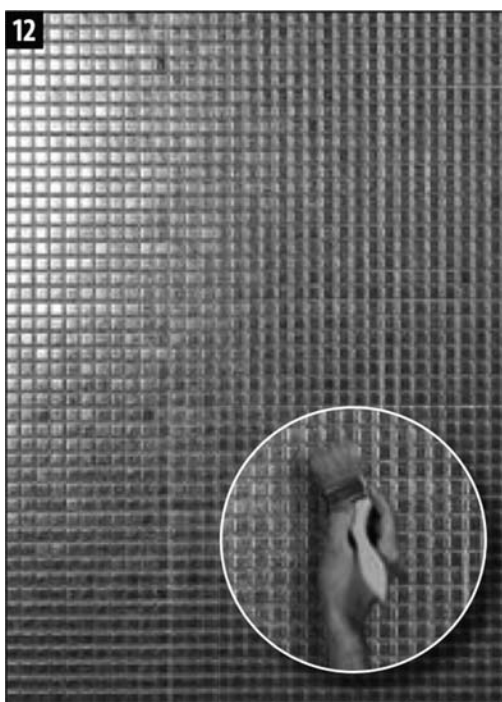
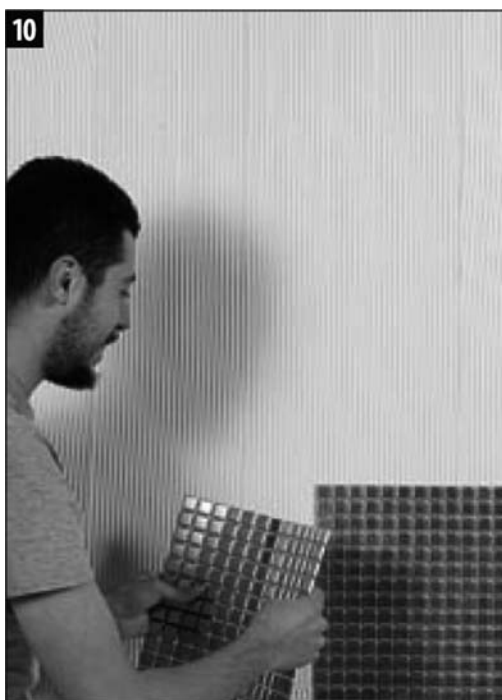
(7) 次に同じ圧力と勾配を保ちながら、目切角鋺〔目幅3 mm〕のギザギザの面を使用して接着剤を均一に塗布してください。

(8) 接着剤は、一定の厚みに塗布してください。

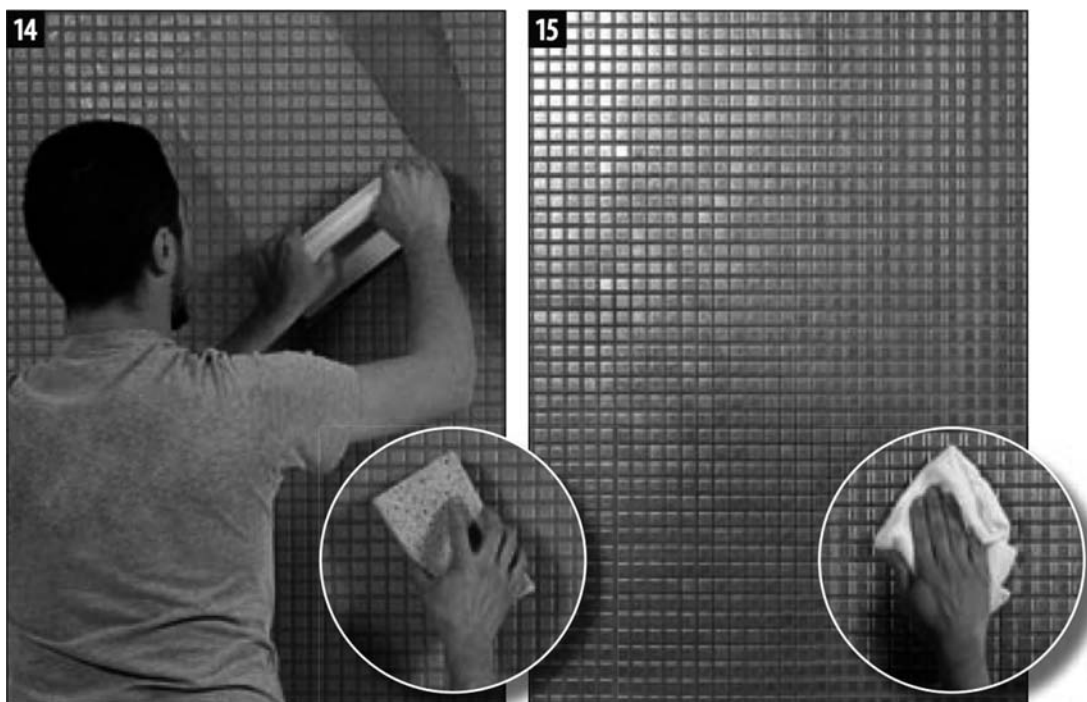
(9) 裏面にはグラスファイバーメッシュが貼ってあります。



- (10) 接着剤が乾く前にステンレスモザイクを貼付けてください。
- (11) ステンレスモザイクが歪み無くフラットに接着されており、継ぎ目が均等に離れていることを確認してください。その後、ゴム鏝で表面に圧力を加えていきます。最終的に表面が、モザイクシート1枚1枚の連続ではなく、1つの継続的なタイル面に見えるように施工してください。全ての施工面への貼付けが完了するまで、上記のステップを繰り返してください。余分な接着剤が堅くなり始めていないか、チェックすることをお薦めします。もし、堅くなり始めていたら、接着剤を剥がさなければなりません。
- (12) 接着剤が堅くなる前に、タイルの隙間からはみ出た余分な接着剤を取り除くことをお薦めします。(特に目地のシーリングの色が、接着剤の色と違う場合。)
- (13) 目地材が準備できたら、ラバーゴで全ての目地を埋めます。目地材はモザイク表面の対角線方向に施し、隙間を全て埋めてください。

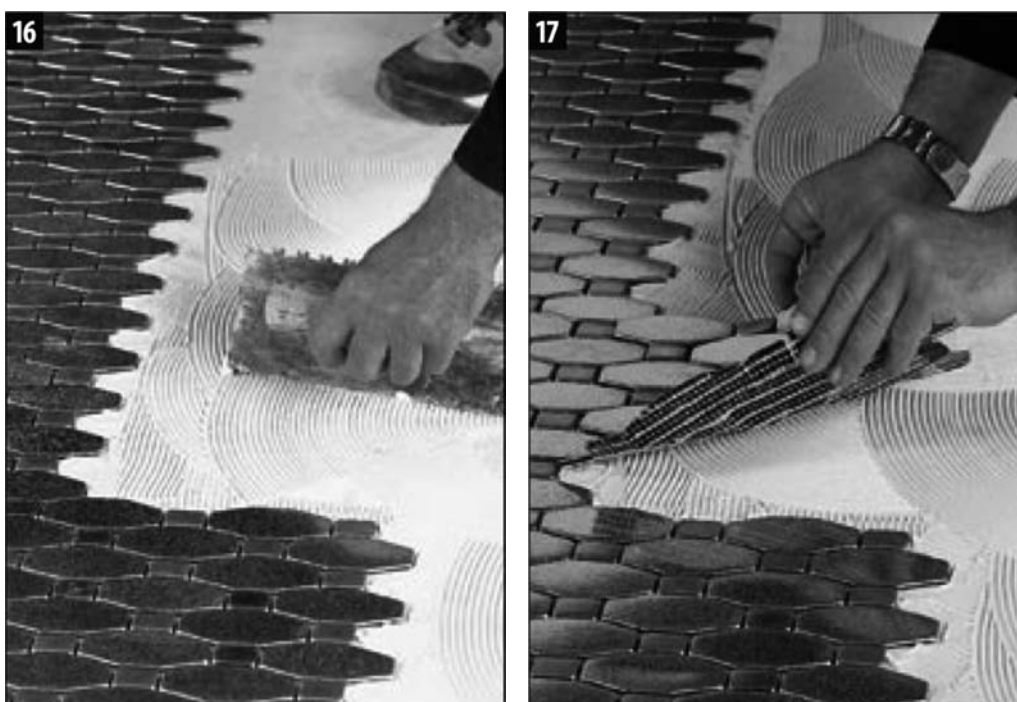


- (14) 目地材を入れたらすぐに、ゴム鏝で余分な目地材を取り除き、水で湿らせたスポンジで表面をきれいにしてください。目地を浅めに入れることでステンレスモザイクを立体的に見せることができますが、接着剤が出ない程度にしてください。とても重要な事は、ステンレスモザイクの表面に残った目地材は硬化する前にきれいにする事です。硬化した目地材は簡単には取り除くことができないので目地材のメーカーに相談してください。
- (15) その後、キレイに磨き上げる為、柔らかい布を使って円を描くように表面を拭いてください。



床面に貼る場合

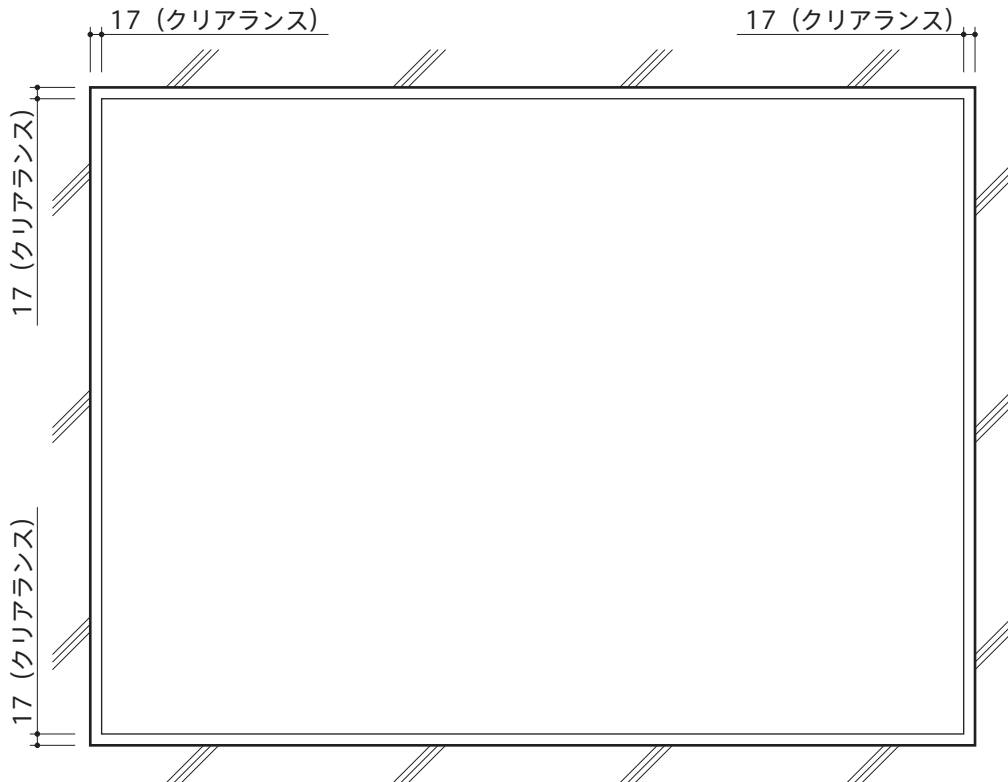
- (16/17/18/19/20) ステンレスモザイクの床貼り：(5)～(15)を参照にして施工してください。

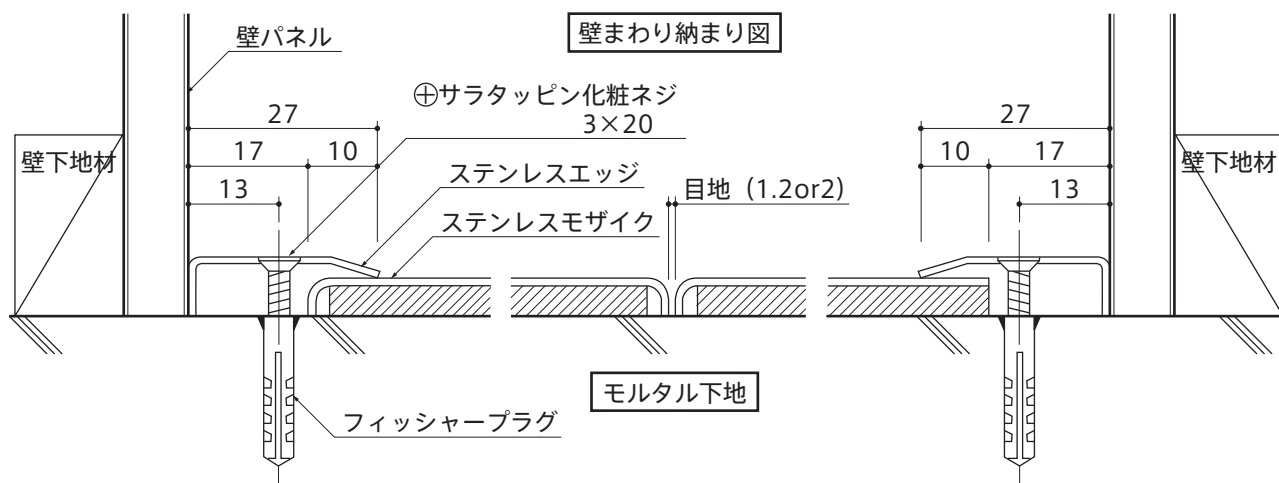
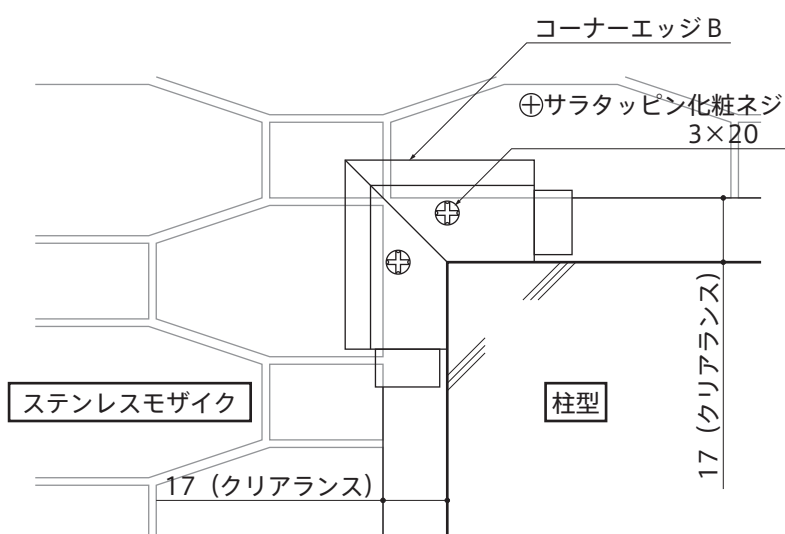
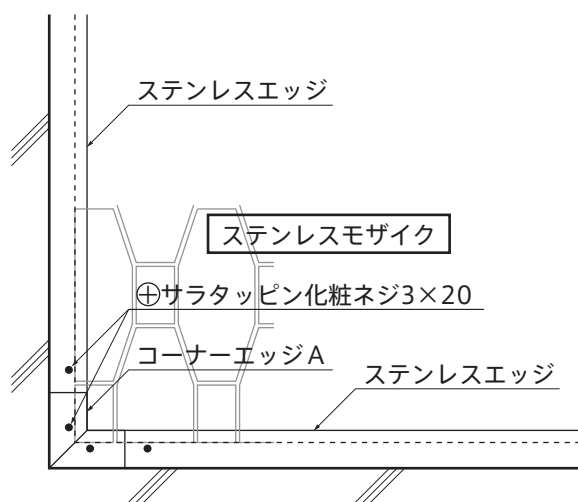
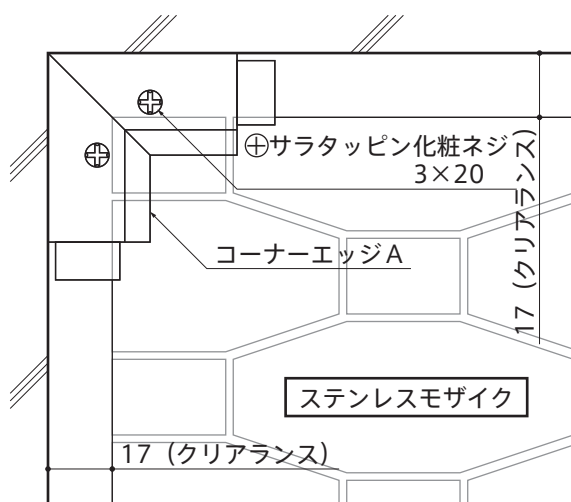
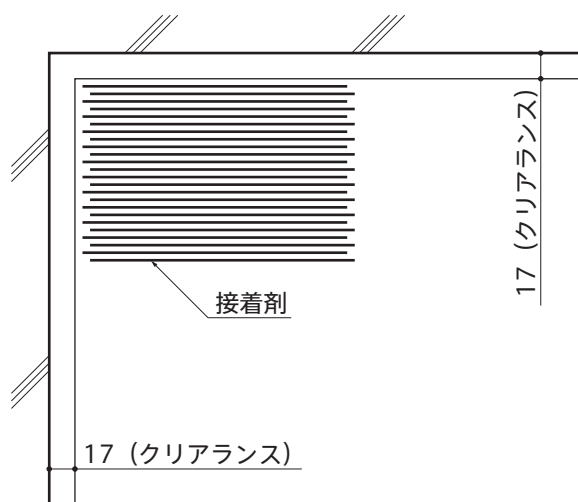




【コーナーエッジ、ステンレスエッジを使用する場合】

- ・壁から17mmクリアランスをとります。
- ・（５）～（１５）を参照にしてステンレスモザイクを施工してください。
- ・コーナーエッジ、ステンレスエッジを取付けます。
 - 1) ステンレスモザイクの隅を⊕サラタッピン化粧ネジ3×20にてコーナーエッジAで固定します。
 - 2) 柱型のある場合は、出隅部を⊕サラタッピン化粧ネジ3×20にてエッジBで固定します。
 - 3) ステンレスエッジを⊕サラタッピン化粧ネジ3×20で固定します。
(モルタル下地の場合は、フィッシャープラグを使用してください。)

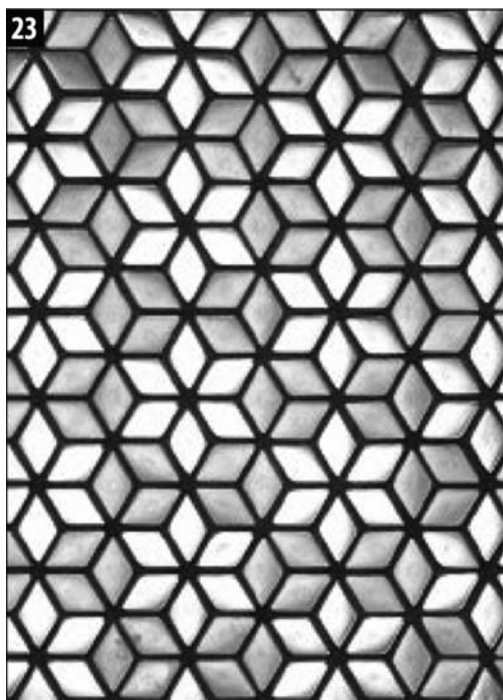




※壁仕上げ面とステンレスモザイクとのクリアランスは必ず17mm取るようにしてください。

※合板下地の場合は、フィッシャープラグなしで直接⊕サラタッピン化粧ネジ3×20でステンレスエッジを固定してください。

- (2 2) 掃除のしかたは、水を含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- (2 3) ステンレスモザイクは、主に装飾的な用途に用いてください。
- (2 4) ステンレスモザイク・ステンレスエッジのカットは、ジグソー又はディスクグラインダー（ステンレス用切断砥石：薄刃）にて切断加工してください。
- ※ステンレスモザイク・ステンレスエッジのカット作業時は、必ず保護手袋・保護メガネを着用してください。



据付け後の点検・清掃・養生

1. 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けられているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
2. 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いことを確かめてください。
3. 表面は、必ず梱包材や養生材を利用して養生してください。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トーヨーキッチン&リビング株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山6-4-10

<http://www.toyokitchen.co.jp>

ユーザーサポートセンター

東京・南青山

お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS184

08.4